

薬剤部

診 療

1 調剤

1994年11月より院外処方開始され、1998年10月から全面発行となった。2002年10月より内服・外用処方のオーダーリングが開始され、更に、麻薬も院外処方ができるようになり、院外処方せんは、91%以上の発行率となっている。

2004年9月には、注射剤についてもオーダーリングが開始された。

2 薬剤管理

各病棟(外来部門を含む)の向精神薬及び毒薬の定数配置については、盗難・紛失等の事故発生を未然に防止するため、各病棟ごとに2ケースの薬剤箱を用意して毎日相互に交換し、「向精神薬・毒薬定数表」により使用薬品の確認を行っている。また、2007年度からは、病棟定数薬についても同様の運営を行っている。

在庫薬品については、有効期限切れやデッドストックの発生を防ぐため、使用量の少ない医薬品については、薬事委員会において見直し、採用薬品から削除するとともに、デッドストックになっている医薬品については、各医師に在庫量の情報提供を行い使用促進を図っている。

3 薬剤管理指導

1994年度から入院患者の薬剤管理指導業務を実施し、2006年度は、4,794件であったが、2007年度は1,973件、2008年度は1,162件と年々減少している。これは、2007年2月からの入院患者の抗がん剤混注業務の増加の影響を受けたものである。今後は、薬歴管理業務を含め、服薬指導の充実を図りたい。

4 抗がん剤混注

2002年7月から外来患者の抗がん剤の混注業務を開始している。さらに、2007年2月から入院患者の抗がん剤の混

注業務を全面的に開始した。2008年度は、外来3,748件及び入院2,730件の計6,478件を実施した。

抱 負

県民のため愛知県がんセンター愛知病院の一員として力を合わせて地域医療、がん治療に取り組んでいきたい。





